



海峽見方志 四編

拾一

遠13
2475
81



遠13
2475
84

鎌倉の御書
倉入

鎌倉見聞志四篇卷之拾四

目錄

一 鎌倉火火の事

一 貞永の式目と試みの事

附 軍兵制履乃事

一 小川色竹秀法原補陀洛山

小波乃事



附 惠草 法原の夏

一 武新 与 春州 吹雪 祭乃事

附 博奕 禁止 乃事

一 春州 改替 乃事

附 古河 改人 乃事 神後 の夏



孫 舎見 聞志 四篇 卷之 拾四

孫 舎 失火 乃事

同 十月 廿 有 晚 祭 乃事

有 風 烈 乃事 乃事 乃事 乃事

所 乃事 火 乃事 乃事 乃事 乃事

乃事 乃事 乃事 乃事 乃事 乃事

晴 長 寿 院 乃事 乃事 乃事

永後寺の惣門乃用平燭
火の勢甚烈し吹速ふい煙
乃てむせび人畜の焼死
事敷成りて右大将右氣兆
乃法蓮貴女びく本為ホ一内
小所焼し外小者か同く甚日
禪定所くわわく或は入道先

内お僧業州執
法蓮貴女びく本為ホ一内
乃系多し一理
といえども罪
かそき法
所
とふ
掛津
師員
法彼入

送行^{しやうぎ}の^し金^{かね}蓄^{たくわ}え^の康^{かやう}連^{れん}木^も下^げけ
外^{あひだ}に^か續^{つづ}き^の乃^の音^ね々^々い^の正^{せい}の^の後^ご
と^と和^わ興^{きやう}乃^の例^{れい}外^{がひ}一^{いつ}只^{ただ}内^{うち}助^{すけ}成^{なり}
所^{ところ}の^の寺^{てら}家^け中^{ちゆう}住^{ぢゆう}持^ぢの^の是^{こゝろ}に^に住^{すま}む
は^は一^{いつ}と^と後^ご生^{せい}ま^まと^と大^{だい}高^{こう}の^の傍^{はた}に^に
お^おわ^わく^くと^と右^{みぎ}軍^{ぐん}家^けの^の初^{はつ}め^めに^に
一^{いつ}と^と送^{しやう}美^びの^のあ^あ一^{いつ}と^と右^{みぎ}大^{だい}將^{しやう}

家^け乃^の法^{はふ}新^{しん}音^ね々^々と^と寺^{てら}家^けの^の所^{ところ}を
ら^らと^と住^{すま}む一^{いつ}と^とあ^あ

貞^{せい}永^{えい}の^の式^{しき}目^め式^{しき}試^しの^の事^{こと}

右^{みぎ}実^{まこと}東^{とう}肌^ひ腫^{しむ}乃^の変^{へん}

寛^{かん}永^{えい}在^{ざい}正^{せい}徳^{とく}二^に月^{げつ}其^{その}日^ひ右^{みぎ}軍^{ぐん}經^{けい}終^{しゆう}
右^{みぎ}近^{ちか}衛^ゑ中^{ちゆう}將^{しやう}々^々住^{ぢゆう}持^ぢの^の是^{こゝろ}に^に住^{すま}む
乃^のと^とあ^あ一^{いつ}と^と同^{どう}く^く正^{せい}徳^{とく}二^に日^{にち}改^{かひ}元^{げん}

川のく 貞永と号する同女母
武秀も赤州改道成馬に
と時 門不念成とくも終
不き 海濱く行 例きて 随死
とらら 馬の 道跡く 満う 武秀
と赤州 出所く 馬成軍おとび
く 胸と 痛く 肝と 爛ら

炎 焚 風 凍 の 氏 と 救 りん
夫 田 六 少 兵 衛 尉 中 念 免
茶 九 千 俵 石 成 借 一 年
無 納 叶 くら ぞと 未 年 の 納 込
と 治 づ くら くら 後 くら くら 更 法
と 言 城 西 越 大 久 保 殿 三 子
修 河 乃 納 貞 成 くら 免 性 返 の

流人ありハ 粥氏者多与
 編者と母多ク 性未乃そのみハ
 乃能乃田野氏等一ハ 旅の糧
 亦成り之 止は之ーと
 之のハ 庄屋氏 助けあさ
 幸ふふ 負狐のうまいか
 助らるる 暁かす 浪を

小河邊の考は原補陀浩
 一ハ 漢字事

附 惠草原法原の事

貞永二年六月乃とある紀州
 系敵乃店一 封の書成氏
 亦多 養州へ送る 別 將軍家の
 法前 持系 事 同 活の花司

親実子 續し免らぬく其の
若くは大物新船より中園形頂
聖の法持乃付人麻を足 幾子の
肉子 け下外法 法受 河く
結 是も外射 手成 操手も下河
色 六神 以 秀く 作 付く 外 以
秀 後 令 成 新く して 向く 矢と

も勿せども麻子 尚くも 皆子の
糸に かけ せんと 小山 在 其 射 射
光 只 寺 矢に 射 ぬ ち 六 面 以 秀
も 如 月 以 矢に 出 する 物 場 しく
皆 成 成 切く 出 敵 しく 逐 電 しく
方 子 しく 知 外 人 ち 向く 事 外 子
知 実 場 しく 名 成 改 免 皆 しく 山

海へ入ふ港乃かきうに天よ
 向へく 親世名 蒸薩 北けの
 所へく 輕水 満る人ハ 専
 蒸薩と 沫をいそる 智定坊
 北山 六十 傳日 爲りて 西經と
 漢 新く 新く 越略の 略略
 神 同法の 所へ 書成 軽

多武 秀馬 藤内 少から あり
 在 佐乃 村者 弓馬の 友たり
 中元 出 敵以後 乃事 とも 成 素細
 水 池 一 ちり 一 ち 爲 是 ち 是
 多 事 一 ちり 一 ち 爲 是 ち 是
 於 中 一 ちり 一 ち 爲 是 ち 是
 乃 一 古 一 文 德 大 皇 乃 法 字

夙^{そく} 衡^{けい} 二年^{にふたとし} 惠^{めぐみ} 夢^{ゆめ} 法^{ほふ} 派^{はい} して
道^{みち} 行^ゆ の 三^{さん} 人^{にん} 橋^{はし} を 依^よ の 作^{しやく} して
亭^{てい} 入^い 唐^{たう} して 小^{せう} 島^{しま} 山^{さん} 小^{せう} 登^{とう} り 親^{おん} 世^せ
畝^{うし} 甚^{おほ} 薩^{さつ} の 傳^{でん} 成^{せい} 威^い 海^{かい} 一^{いつ} 日^{にち} 明^{めい}
山^{さん} 日^{にち} 小^{せう} 停^{てい} 船^{せん} せ 人^{にん} して 小^{せう}
小^{せう} 凡^{ぼん} 中^{ちゆう} 放^{はう} ち 補^ほ 沈^{しん} 語^ご 上^{じやう} 中^{ちゆう}
印^{いん} 中^{ちゆう} 形^{けい} 成^{せい} 出^{しゅつ} 人^{にん} して 小^{せう}

う 中^{ちゆう} 動^{どう} の 故^こ 修^{しゆ} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 親^{おん} 善^{ぜん}
乃^の 傳^{でん} を 形^{けい} 上^{じやう} げ 一^{いつ} 中^{ちゆう} 親^{おん} 善^{ぜん}
修^{しゆ} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 惠^{めぐみ} 夢^{ゆめ} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 親^{おん} 善^{ぜん} 乃^の
傳^{でん} 成^{せい} の 故^こ 一^{いつ} 中^{ちゆう} 親^{おん} 善^{ぜん} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 親^{おん} 善^{ぜん}
一^{いつ} 中^{ちゆう} 海^{かい} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 高^{かう} 成^{せい} 修^{しゆ} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい}
一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい}
一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい}
一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい} 一^{いつ} 中^{ちゆう} 傳^{でん} 成^{せい}

智定坊を以てしつとまうらふに
海に渡りて北山に於て
林猪多ふ事とともあり

武彦も春州に於て其の夏

竹博奕禁止乃夏

同く八月十八日乃早天く武彦も
春州に乃博の賜神に事請せ

而く前漢く死人の年以て其
己の男ありて其の死に
休むる春州不便乃事にり
秋も成るが如く其の
評定所を集え北山に於て
其の事人等と合え武彦も
大略を以て其の事大倉横大

路^{しん}を不^ふ詰^{じつ}方^{かた}の口^{くち}と^と詰^{じつ}え^えを
家^かく^くと^と犯^{はん}神^{じん}人^{にん}の^の中^{ちゆう}と^と摺^{すり}け
る^る可^かく^く為^な紙^しを^を小^こ切^{きり}し^し男^{おとこ}手^て自^{みづか}り^り
血^ちの^の神^{じん}手^て血^ちの^の自^{みづか}り^りと^と洗^{せん}ひ
居^ゐる^る我^{われ}生^{せい}補^ぼく^くの^の神^{じん}手^て毒^{どく}付^つく^く水^{みづ}
を^を我^{われ}つ^つげ^げ水^{みづ}火^かの^の指^{さし}回^{まわ}り^りに^にか^かぶ
し^しく^く男^{おとこ}手^て自^{みづか}り^りと^と洗^{せん}ひ
乃^{すなは}ち^ち集^ある^る博^{はく}奕^{やく}乃^{すなは}ち^ち積^たむ^むる^る
と^とい^いふ^ふと^とい^いふ^ふ刺^さ殺^{ころ}し^し推^おす^すく^くは
血^ち乃^{すなは}ち^ち自^{みづか}り^りと^と洗^{せん}ひ^ひを^を自^{みづか}り^りと^と運^たん
命^{いのち}つ^つき^きく^く切^きり^りの^の道^{みち}は^はし^し切^きり^りの^のま^まに
お^お快^たく^くし^し事^{こと}を^を是^{こゝ}に^にい^いく^く獄^{ごく}と
下^{した}し^し博^{はく}奕^{やく}停^と止^どの^の觸^ふれ^れは^はし^し
事^{こと}を^を神^{じん}手^て毒^{どく}付^つく^く乃^{すなは}ち^ち敗^たる^る事^{こと}神^{じん}

に色^{いろ}一^{いつ}つ^つと^と結^{むす}人^{ひと} 威^い黄^{わう}一^{いつ}も^もの^の
丈^さ博^{はく}奕^{やく}の^の榮^{えい}と^と世^よに^にの^のく^く人^{ひと}の^の
き^き一^{いつ}と^との^の凶^{きよう}凶^{きよう}廉^{れん}讓^{じやう}の^の人^{ひと}と^との^のも^も
息^{いき}ち^ち奸^{けん}偽^ぎ者^{しや}と^との^の武^ぶ士^しハ^ハ懐^{くわい}
病^{びやう}起^{おこ}り^り滑^{くわく}泥^{でい}と^との^の透^{てう}泄^せ成^{じやう}失^{しつ}ふ^ふ
君^{きみ}子^こ乃^の禁^{きん}一^{いつ}む^むか^か所^{しよ}の^の人^{ひと}
乃^の妙^{めう}心^{しん}と^との^の海^{かい}と^との^の英^{えい}国^{こく}口^{くち}端^{たん}

乃^の祿^{りく}と^との^の列^{りやう}り^り盜^{たう}賊^{そく}故^こ傷^{わう}乃^の基^きの^の
多^たり^り國^{こく}家^か改^{かい}替^{ぱい}乃^の邦^{ぱう}廣^{くわう}と^との^の
事^じ一^{いつ}つ^つと^との^の地^ちと^との^の事^じと^との^の事^じ
乃^の禁^{きん}制^{せい}と^との^の理^りと^との^の人^{ひと}
く^くの^の事^じ

春^{はる}内^{ない}政^{せい}替^{かへ}乃^の事^じ
乃^の改^{かい}替^{ぱい}乃^の事^じ乃^の改^{かい}替^{かへ}乃^の事^じ

之乎も武彦の素附を仁彦有通
乃卷色世と高く唐讓節
義乃いりし成肉もたぐは
女國松民乃らるはう一色友
報會乃部と一記海所乃
門中鏡成物と一紙所乃
人之流が一欠五十六日と卯の

刻々記海所と一色友
の刻々通と一下十六日八年の
刻々り物事申の刻に隔る
之後小鏡乃声軍中色と
人乃か一紙証人と一色友
進出と一紙証人と一軍紀と
書記と一月毎と一十日七日

日く史断の日成定免郎人評
定免と集免と理淑成史と
其法と貞永の式目乃おそ
欲深とと禁一免和く一廣
史の如く成親一三行勝力如
く免を幻の如く文と免が
以不事成用ひくも史郎人

評定免郎人免郎人
如く法一免文と免免郎人
て免免と年免と免免郎人
免進免郎人免郎人
免免郎人免郎人免郎人
免免郎人免郎人免郎人
免免郎人免郎人免郎人
免免郎人免郎人免郎人

所一旦とて其理中叶ふ小似と
ふ事此の如し中叶ふ世に
んを其智者より小愈く
只古人の宣ひし陳言成精
を其の如くも亦其の人用
とあるか一々其法く當心
一人此等の人と夫れから

皆其が如く法乃其物中
く一造一精一事外若
其一人皆其成其年
乃須三十歳より肉乃人
其年乃余の好しき年
老いし人乃其成其年
其年乃其物

人乃海と島から
なる島はわたりて民をまき
海ふたれ事成ればは是より
く自好く國乃好魚と知る
し事民の類は成る事多
く是よりたたくは免れぬは
是より先理結く海を禁
ず

免親海つわも理海と狂ふ
事一ふり折や親會りふ
もも無道乃亦舌者石民の
利口人愚智乃道世者後樂
乃端ふ業と道台戲云虚
論之可ふは自好く者
也事遊道者人よりなる

たつり生價成 覺しし事 透義
成 辨しし 道成 知るか 若ハいよく
依しし事 知しき 成 志し 田 頃
私 曲を 多 成 少し 此 成 下
か 後 亦しし 偏 奸 あり 若し
親 會乃 所 しくし しく 成 義
事 成 知し しく 成 人 成

若し 免 押 例し 事 成 の 誤り
事 理 遊乃 透 義と 成 たり 成
古 成 成 人し 成 成 軍 利 成
成 成 成 成 成 成 成 成
成 乃 成 成 成 成 成 成 成
事 成 成 成 成 成 成 成
事 成 成 成 成 成 成 成

乃く能くもきくかめく
威ん一書からうくまて天福
二年七月家司あり命に
起飛文と読んるも其車の親決
といふがも読んぬぞかめく
美の抄原と読んぬるものおぼし
と云ふ七十七人の判形と云ふ

上野五楼

字

林一

